

記入例

参考様式

事業計画書

計画承認申請書の事業名を記入。

1 事業の名称 **地域防災力アップ事業**

2 事業実施団体の概要

申請する町内会、団体名（会則・規約で定められた正式な名称）

団体の名称 △△町内会

構成員数（町内会の場合は戸数） 50人（戸）

団体の所在 〒656-8686 住所 洲本市本町三丁目4番10号

代表者名 会長 洲本一郎

連絡先 代表者・団体事務所 TEL 0799-22-3321
FAX 0799-23-2340
Eメール sumoto@city.sumoto.lg.jp

3 事業の目的・趣旨

どのような課題があり、どのように解決を図っていこうとしているのかなど、わかりやすく記載してください。

[実情]

地震や台風による災害発生時の避難場所などが町内会住民に周知が行き届いていない。

[課題]

本町内会では、災害時の避難場所や避難経路が住民に知られておらず、近い将来に発生する地震や津波に備え、住民への周知が早急に必要である。

[手段等]

町内会で防災マップを作成し、それを用いて防災スタンプラリーを開催し、子どもからお年寄りまで幅広い住民を対象に避難場所や避難経路を学ぶイベントを実施する。

また、避難訓練や炊き出しなど、実践的な防災訓練を行い、災害に備えて地域防災力の向上を図る。

4 事業の内容

(1) 事業の手法（事業で取り組む内容を具体的に記載してください。）

・防災スタンプラリーの開催

防災マップに記載された、町内会にある消火栓の場所でスタンプを押印するスタンプラリーを開催。消火栓の配置箇所を学ぶ。

・防災訓練の実施

避難訓練や炊き出し訓練を実施。訓練実施により、災害時に慌てず落ち着いて行動できる習慣を身につける。

(2) 事業計画（事業計画の会合や、準備作業、実施日、反省会など、時系列で記載してください。）

・今までの本助成金の交付の有無（有）（令和2年度） ・ 無 ）

月 日	場 所	参加人数	実施内容
7月10日	集会所	20人	打ち合わせ会の実施
7月20日	集会所	15人	チラシの作成
7月30日	集会所	20人	打ち合わせ会の実施
8月15日	町内一円	100人	防災スタンプラリーの開催
9月25日	小学校	100人	防災訓練の実施
10月上旬	集会所	20人	反省会
	事業予定実施期間に行う取り組みを時系列で記入。 日にちが決まっていない場合は、上旬等を記入。 参加人数についてもご記入ください。		

5 事業の効果（必要性）

事業を行うことにより生じる効果や事業を実施しなければならない必要性など、わかりやすく記載してください。

防災訓練を実施することなどにより、地域住民の防災に対する意識を高めることができ、災害時に落ち着いて行動できる習慣を身に付けることができる。

記入例

参考様式

収 支 予 算 書

1 収入の部

単位：円

区 分	予 算 額	摘 要
つながり基金事業助成金	500,000	千円以下切捨て
町内会自己資金	400,000	
入場料	50,000	500円×10人
協賛金	50,000	50,000円×1団体
計	1,000,000	

2 支出の部

区分は対象経費表の区分名の例にならない記入

区 分	予 算 額	摘 要
報償費	100,000	講師謝礼
消耗品費	200,000	コピー用紙、インクカートリッジ
印刷製本費	500,000	防災マップ印刷代(見積書)
保険料	100,000	参加者保険料(見積書)
使用料	100,000	機器使用料一式
計	1,000,000	一式と記入する場合は別紙で内訳が分かる書類を添付

※単品単価が5万円を超えるものや委託料、工事費は、見積書等の添付をお願いします。

記入例

参考様式

団体等概要書

団体名	△△町内会	
氏名	役職等	備考
洲本 一郎	会長	
五色 二郎	副会長	
洲本 三郎	会計	
五色 四郎	実行委員長	
団体の主な役員名、役職を記入し、団体のパンフレット 総会資料など団体の概要がわかるものを添付してください。		

記入例

参考様式

事業実施報告書

1 事業の名称 地域防災力アップ事業

2 事業実施団体の概要

団体の名称 〇〇町内会

構成員数（町内会の場合は戸数） 50 戸（戸）

団体の所在 〒656-8686 住所 洲本市本町三丁目4番10号

代表者名 会長 洲本一郎

連絡先 代表者・団体事務所 TEL 0799-22-3321
FAX 0799-23-2340
Eメール sumoto@city.sumoto.lg.jp

3 事業の目的・趣旨

どのような課題があり、どのような方向で解決を図っていったかなど、わかりやすく記載してください。

本町内会では、災害時の避難場所や避難経路が住民に知られておらず、近い将来に発生する地震や津波に備え、住民への周知が早急に必要である。

4 事業の内容

(1) 事業の手法（どのような方法で、どのように事業を進めたかなど、取り組みを展開した手法などについて記載してください。）

・ **防災スタンプラリーの開催**

防災マップに記載された、町内会にある消火栓の場所でスタンプを押印するスタンプラリーを開催。消火栓の配置箇所を学ぶことにより、防災知識を深めた。

・ **防災訓練の実施**

町内会住民に呼びかけ、避難訓練や炊き出し訓練を実施。訓練実施により、災害時に慌てず落ち着いて行動できる習慣を身につけることができた。

(2) 事業経過（日程、場所、参加人員、実施内容などを事業計画の実施段階から事後の反省会まで時系列で記載してください。）

月 日	場 所	参加人数	実施内容
7月10日	集会所	20人	打ち合わせ会の実施
7月20日	集会所	15人	チラシの作成
7月30日	集会所	20人	打ち合わせ会の実施
8月15日	町内一円	100人	防災スタンプラリーの開催
9月25日	小学校	100人	防災訓練の実施
10月5日	集会所	20人	反省会

5 事業の効果

事業を通して、どのような効果や事業を実施しなければならない必要性など、わかりやすく記載してください。

近い将来起こると予測されている地震が発生した場合に、命を守るために、避難路の確認や落ち着いた行動をとれるよう、防災意識を高めておくことが必要である。
そのために、事前の防災訓練の実施は効果があると考えます。

6 事業実施に際して生じた問題点等

(1) 事業実施に際して生じた問題点と対応策について、具体的に記入してください。

防災訓練を実施したが、初めて参加した方が多く、炊き出しなどスムーズに準備が整わなかった。1回限りの訓練ではなく、継続性が必要であると感じた。

記入例

参考様式

収 支 決 算 書

1 収入の部

単位：円

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引増減額 (B)－(A)	摘 要
つながり基金事業助成金	500,000	450,000	△50,000	
町内会自己資金	400,000	350,000	△50,000	
入場料	50,000	50,000	0	500円×100人
協賛金	50,000	50,000	0	50,000円×1団体
承認申請の収支予算書にならい記入して下さい。 収入がある事業は、得る収入額を記載してください。				
計	1,000,000	900,000	△100,000	

2 支出の部

単位：円

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引増減額 (B)－(A)	摘 要
報償費	100,000	100,000	0	
消耗品費	200,000	150,000	△50,000	別紙内訳のとおり
印刷製本費	500,000	450,000	△50,000	
保険料	100,000	100,000	0	
使用料	100,000	100,000	0	別紙内訳のとおり
計	1,000,000	900,000	△100,000	

※各区分の詳細については、領収書総括表を作成の上、総ての領収書の写しを添付してください。

区分は、収支予算書と同じ区分とし、追加する区分があれば、最下行に追記してください。

